

登録コード:MH502200 開講年度:2026		授業科目区分		学科共通専門科目 必修（看護・検査・理学）		選択（作業）	
科目名		公衆衛生学【20M以降】 Public Health					
担当教員		横川 吉晴 長谷川 航平・山内 一由・下里 誠二・五十嵐 久人					
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限		2学年 後期 金曜・5時限					
単位数、講義室		2単位 多目的講義室 保健学科2 2 1 講義室				遠隔授業科目 該当	
信大コンピテンシー		該当					
授業の達成目標		授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標			
		MH20カリ・保健					
		保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。			公衆衛生の理念や様々な保健領域での統計情報や実践を理解し、説明できる。		
		MH25カリ・保健・看護, MH23カリ・保健・看護					
		基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し, さまざまな状況で活用できる。			公衆衛生の理念や様々な保健領域での統計情報や課題、社会的実践を理解し、説明できる。		
		MH25カリ・保健・検査, MH25カリ・保健・理学, MH25カリ・保健・作業, MH23カリ・保健・検査, MH23カリ・保健・理学, MH23カリ・保健・作業					
		基礎的・専門的な知識と技能 保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し, さまざまな状況で活用できる。			公衆衛生の理念や様々な保健領域での統計情報や課題、社会的実践を理解し、説明できる。		
		MH25カリ・保健・看護, MH25カリ・保健・検査, MH25カリ・保健・理学, MH25カリ・保健・作業, MH23カリ・保健・看護, MH23カリ・保健・検査, MH23カリ・保健・理学, MH23カリ・保健・作業					
		科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して, 地域・国際的な視点から, 科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と, 課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		社会における様々な健康課題を見だし、分析するための疫学方法を身につけてデータを分析し、衛生指標を説明することができる。			
授業で学べる「テーマ」		健康長寿					
全学横断特別教育プログラム							
授業概要		地域社会で生活している人々の健康を守るための方法と社会的基盤について学ぶ。 本授業は担当教員の地域保健活動における保健医療専門職としての実務経験を活かして講義を行います。 本授業は, 1年次に学んだ「健康科学概論」、「データサイエンス」の知識を前提とし, 2年次後期の「保健・医療・福祉政策論」、「ヘルスデータサイエンス」の内容と相補的に学んでいくこととなります。そして, 本授業の内容は, 3年次に学ぶ「公衆衛生看護学概論」、「地域理学療法学」、「地域作業療法学」、ならびに, 4年次の臨床実習における重要な基礎知識となります。本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。					
授業計画		第 1回(10月 2日) オリエンテーション(横川) テキスト第1章 ・小テスト 第 2回(10月 9日) 保健統計(長谷川) テキスト第2章 ・小テスト 第 3回(10月16日) 疫学1(横川) テキスト第3章 ・小テスト・レポート課題説明 第 4回(10月23日) 疫学2(横川) テキスト第3章 ・小テスト 第 5回(10月30日) 疫学3(横川) テキスト第3章 ・小テスト 第 6回(11月 6日) 疾病予防と健康管理(横川) テキスト第4章 ・小テスト・レポート提出 第 7回(11月20日) 環境保健(山内) テキスト第6章 ・小テスト 第 8回(11月27日) 感染症予防(五十嵐) テキスト第5章 ・小テスト 第 9回(12月 4日) 母子保健(石田) テキスト第8章 ・小テスト 第10回(12月11日) 高齢者の保健・医療・福祉(横川) テキスト第11章 ・小テスト 第11回(12月18日) 産業保健(水木) テキスト第10章 ・小テスト 第12回(12月25日) 生活習慣病予防1高血圧/心臓病/がん等(石田) テキスト第5章・小テスト 第13回(1月 8日) 精神保健(下里) テキスト第12章 ・小テスト 第14回(1月15日) 生活習慣病予防2脳卒中/糖尿病等(小村) テキスト第5章 ・小テスト 第15回(1月22日) 社会保障制度(五十嵐) テキスト第14章・授業アンケート実施・小テスト 第16回(1月29日) 期末試験					
授業の進め方		教科書と配布資料等を用いてオンライン講義を行う予定です。対面に変更の場合は、事前に通知します。講義の内容（疫学）ではデータ分析を含めたレポート作成を行います。毎回、講義終了後、小テストを行うことにより内容の復習をはかります。					
テキスト, 教材, 参考書		教科書 鈴木庄亮、久道茂編「シンプル衛生公衆衛生学 2026」南光堂 参考書 「国民衛生の動向（2026）」厚生統計協会					
成績評価の方法		小テスト、課題レポート、期末試験から総合的に評価します。 総合的評価の配分は小テストが30%、課題レポートが10%、期末試験が60%とし、総計の60%以上を合格とします。小テスト1回ごとの評価は20点満点、15回合計で300点満点評価とし、それを30%に換算します。期末試験は、全15回の授業内容をもとに教科書に示してある各健康課題と公衆衛生活動の知識について問うもので、100点満点評価を60%に換算します。なお、期末試験では100点満点のうち60点以上の得点を得ることが必須で、講義・テキストで学習した内容・行動目標の理解度を確認します。					
成績評価の基準		成績評価の基準は以下のとおりです。 90-100%：秀 80-89%：優 70-79%：良 60-69%：可					

成績評価の基準	授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある（可）」，応用問題が解ければ「やや上にある（良）」，やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある（優）」，例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している（秀）」と判定します。
事前事後学習の内容	【事前学習について】 毎回の授業内容の欄に，教科書や副読本で予習しておくべき個所を指定しておきます。 【事後学習について】 毎回，授業後に内容確認の小テストをeALPSでアップロードします。受講生はそれに解答し，さらに自分が選んだ選択肢について，どうしてそれが正しい選択肢であるのかを隣の席の受講生に口頭で説明できるようにしておくことが求められます。 本授業の単位修得には90時間の学習が必要であるため，以下のような学習時間を必要とします。 授業時間30時間（2時間×15回）＋自己学習時間60時間（4時間×15回）＝90時間
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	講義内容は多岐にわたり、統計情報が多いので、計画的な学習に努めてください。 質問への対応 各研究室オフィスアワー 随時（要事前連絡） 横川吉晴 fhakuba@shinshu-u.ac.jp 南校舎4階 長谷川航平 koheih@shinshu-u.ac.jp 医学科基礎棟3階 産業衛生学講座 水木将 mizuki@shinshu-u.ac.jp 医学科基礎棟3階 小児環境保健疫学研究センター 山内一由 yamauchi@shinshu-u.ac.jp 中校舎4階 下里誠二 sshimos@shinshu-u.ac.jp 中校舎4階 五十嵐久人 higaras@shinshu-u.ac.jp 中校舎4階 石田史織 shioriis@shinshu-u.ac.jp 中校舎4階 小村晃子 akomura@shinshu-u.ac.jp 中校舎3階